



●NIAの予定 8月～10月●

| | | | |
|------------------|--------------------|-----------------|----------------|
| 8月19日(土) | 日本語教室 部会 親睦会 (盆踊り) | 時間: 16:00~20:30 | 場所: 5階 和室 |
| 10月7日(土) | 協会 設立30周年 記念式典 | 時間: 10:00~13:30 | 場所: 千葉工業 大学1号館 |
| 10月16日(月)~19日(木) | あすなろ会「書道体験 教室」 | | |

●学習者紹介●

- ①名前 (学習 曜日) ②出身 国、都市 ③趣味 ④担当日本語ボランティア



- ① エンドウ プリサ(月)
② ペルー、リマ
③ 読書、旅行、手芸
④ 廣田 佳代



- ① 侯 軼嵐(水)
② 中国、桂林
③ 料理、旅行、ドラマを観ること
④ 岸 美穂



●七夕とスピーチ茶話会 7月3日(月)●

于 迦 学習者(水) 中国 出身



「七夕とスピーチ茶話会」に参加して、それぞれの思いを日本語でスピーチしました。学習者の日本語のレベルは違っても、日本語の勉強を一生懸命したいという気持ちは、みんな同じだと感じました。私は何回も作り直した原稿を、マイクで話す時はドキドキしましたが、先生に励まされて落ち着いてスピーチすることができました。また、学習者は色とりどりの短冊に願い事を書いて笹の葉に吊るし、星に願いを込める素敵な七夕と茶話会を楽しむことができました。



まるで天の川の橋のように、学習者と先生の交流が実現できたように思いました。

写真を用意してスピーチする学習者 (5日・水)

●習志野きらっとサンバ 7月16日(日)●

スタパ チャクラボルティ 学習者(土) インド出身



私たちは夕方集合し、サンバを練習してからポンポンを持ち赤い法被を着て、いざパレードへ！いろいろなグループの人達がそれぞれカラフルな衣装を着て、参加していました。沿道にはたくさんの方が見に来ていて、写真を撮ったり拍手したりしてくれました。NIAのサンバが終わった途端に土砂降りになり、なんと運が良かったのでしょうか！オフィスに戻って軽食をとりながら、参加者同士歓談しました。思い出に残る楽しいイベントに参加できて、本当に良かったです。



●日本語ボランティア研修会 7月12日(水)●

田中 律子 日本語ボランティア(水)



研修会にはボランティア35名の参加が行われました。山田哲夫氏「NIAの中の日本語教室」と津田敏吾氏「“Show and Tell”をやってみませんか」のスピーチでは、視点を変えて日本語教室を考える良い機会となりました。

グループでの討議では、レベルに合った教材の選定、インターネットや翻訳アプリの活用など個々の問題に加え、ボランティア不足解消のためグループ学習の提案があるなど、幅広い意見交換の場となり、4月から活動を始めたばかりの私にとって、大変有意義な研修会となりました。

●お知らせコーナー●



* 日本語教室の代替 教室

- ・8月3日(木): 5階 和室A・B、6階 特別会議室
- ・8月19日(土): 2階 会議室、6階 特別会議室

* 事務局のお休みは、8月12日(土)~15日(火)ですが、日本語教室は平常通り行うことができます。本の貸出しやコピーを取りたい人は、管理人に声を掛けてください。

* 日本語能力 試験 第2回

- ・実施日: 2017年12月3日(日)
- ・申込 期間: 2017年8月31日(木)~9月29日(金)

●親子で身近な国際交流！ 7月22日(土) ●

後藤 京子 日本語ボランティア(月)



今回子育て中のママを応援する市民活動団体「どなほぼろ」が主催するイベントに参加しました。NIAからは、6か国の学習者と家族を含む計13名が参加しました。国旗シールスタンプラリーを通して会話が始まり、来場された幼児・小学生と保護者との交流を楽しみました。学習者は、写真、お金、あいさつの言葉カードや飾りを用意して、母国語であいさつしたり、母国のことを紹介しました。来場者からの質問に丁寧に答えている姿も見られました。ペルーの学習者は、お子さんと共に民族衣装を着て音楽に合わせて踊りを披露してください、来場した親子は大喜びでした。

「世界を知ろう」サポートプランの活動に、多くの学習者とボランティアに参加していただきたいと思います。



民族衣装を着たペルーの皆さん



見学に来た子供たちといっしょにポーズ！
*来場者数は、大人13人、子供17人でした。

サトウ ルビー 学習者(月) フィリピン出身



NIAの外に出て交流活動に参加してきました。参加者は、ブラジル、ネパール、ペルー、中国、台湾とフィリピンの学習者で、自国の物を持参して展示しました。10時から1時までの3時間、見に来てくれた子供たちは、言葉の違いやお金、動物、食べ物、町の様子などに、興味津々でした。ペルーの踊りを見たり、「伝言ゲーム」を一緒にやって、大喜びしている姿を見て、私も嬉しくなりました。いろいろ勉強になりましたし、思い出に残る良い経験になりました。また同じような機会があれば、ぜひ参加したいと思っています。



市民プラザ大久保のきれいな会場で開かれました

●私のふるさと自慢⑬● アメリカ合衆国 クリーブランド

スコット アンダーソン(水)



アメリカの地形を人の体に例えると、クリーブランドは心臓の位置にあることから、「アメリカの心の都市」というスローガンがあります。



1920年代、製鉄所に働きたるポーランド人の移民たちによって、クリーブランドは築かれ、

それ以降美しい町へと発展しました。117か国もの人種が住んでおり、ハンガリーやポーランドのスラブ系街やリトル・イタリアなど大規模なコミュニティから小規模な民族街まで、様々な人種が共に暮らしています。

もっとも有名な場所はロックン・ロールの殿堂でしょう。



有名になった多くのミュージシャンが、ここで認められ成功しました。

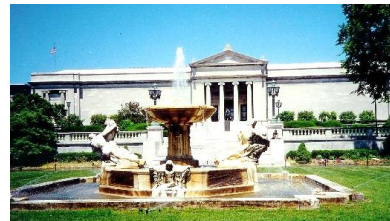


スポーツも盛んで、野球、アメリカンフットボール、サッカー、バスケットボールを合わせると、17つのプロチームの本拠地になっています。私は

大学のアメフトの試合を見るのが大好きで、いつもオハイオ・バッカイズを応援しています。

クリーブランド管弦楽団は全米ビッグ5と呼ばれていて、毎年7月4日の独立記念日には野外のプロッサム・ミュージック・センターで演奏するのが恒例となっています。

クリーブランド美術館は、コロンブス来航以前のアメリカ大陸や中世ヨーロッパ、東洋、エジプト等から現代美術に至るまで、常時45000点もの作品を入場無料で



見学できます。世界で最も来館者の多い美術館の一つです。他には、ニューヨークに次いで全米第2の規模のプレイ



ハウス・スクエアがあります。劇場が集まった地区で、ミュージカル、オペラ、コンサートなどを楽しむことができます。